

● 月曜日の朝どり 驚きの大量収穫量 万願寺トウガラシ トマト コーナーに並びきらず 夏野菜の最盛期を迎えました。この日の朝どり作物はコーナーのすべての棚にぎっしり並べても余りあるほどでした。いつもは並べるとたちまち売り切れになるトマトも少し残っていました。全部売り切れれば相当の収入になるところですが、かなり売れ残りしました。月曜日は播川さんで水曜日には深田さんが並べていただきました。市役所に出勤されるお方が立ち寄ってトマトは非常においしい、友人が買ってきてほしいと頼まれています。万願寺やナスビ等買い物袋にしっかり詰め込んでおられました。多くの方々が朝早くから朝どりに御協力をいただき、出勤途上でも買っていていただいているなど大変ありがたいことです。

● 第4回の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」参加申込者数今夏最大105人となる 今年第4回目の親子で遊ぼう学ぼう魚とりへの参加申し込みは今年最高の人数になりました。暑さの最も厳しい折と重なり熱中症が心配です。また列島各地では豪雨が大きな被害を発生させていますが、京都南部には全く雨の気配がなく非常に乾燥して防賀川は水が枯渇しています。魚とり開催場所の移動も検討しなければならない事態に至っています。

雨が降れば降ったで大変ですし、降らなければ降らないでこれまた大変です。自然を相手の取り組みは苦勞がつきものです。川の水に気を使いながら、最大の参加者受け入れにも気を使わなくてはなりません。スタッフの不足も非常に気になります。ぜひとも多くの皆さんのご協力をお願いします。大変な暑さ続きなのでスケジュール通りには進められないかもしれません、臨機応変の対応も必要です。ご協力をお願いします。

● 県外現地視察研修会 参加者 10人決まる 愛知用水統合管理所訪問を追加 愛知県を訪ねる今回の現地視察研修会の日程で、地域の大問題として取り組まれてきた「愛知用水」についてのまったく抜け落ちていました。黒四ダム建設や富士山測候所建設などが話題になっていましたが、愛知用水の建設は軽く扱われているようです。改めて学習してみると、この大事業の重要性を再認識しました。長年取り組んできた干ばつ対策にもかかわらず戦後大被害が発生して、篤農家と高校教師の出会いから愛知用水の建設が開始されたとのこと、そしてその結果すごい地域おこしが始まり、水不足が解消され、今日の繁栄を保証する働きをしているなどが伝えられています。この農業土木事業には全国から技術者が招集され一大プロジェクトとして推進されました。なんと120kmの水路が4年間で完成されたのです。これで知多半島先端まで水が届けられ水不足が解消されたのです。この大工事の効果について学んできたいと思います。愛知用水統合管理所をお尋ねいたします。

● 28年度京都府地域力再生プロジェクト事業交付金・交付決定が間もなく届くものと思います。 総事業予算300万円の申請です。事業の予算計画では①里山の会結成20周年記念としての木津川生育植物調査写真集の発行、②木津川での魚とりと木津川の学習会の開催、③竹蛇籠での生き物調べの実施、④環境フェスタへの参加と発表、⑤

植物写真集を使つての学習会の開催を計画しています。里山の会結成 20 周年記念として、木津川堤防強化工事の施工後これまで確認できていた植物が順調に生育しているのか少し心配です。こうした観点から写真撮影を行ってきました。その結果をまとめてみます。また木津川での魚とりの実施を 6 回開催し、体験を通じて学んでいただく機会を開催し、自らの故郷について理解を深めていただきたいと思います。また昨年 10 月に設置した竹蛇籠のその後を調査し効果を確認します。いずれにしてもこれまで以上に重視して事業の推進を図らなければならないことは明らかなです。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

● 木津川市市役所ロビー展 木津川河川レンジャーと協賛後援団体による取り組みが 2 日から始まっています。木津川における竹蛇籠設置講習会の取り組みや生育植物と野鳥、木津川での取組んだ子どもたちの活躍の様子等わかりやすく展示発表されています。ぜひ一度ご覧になっておいてください。市役所を訪れてこられた皆さんから熱心に質問をいただいています。

● つばめのねぐら入り観察会 6 日(土)午後 5 時 近鉄向島駅 改札口集合です。今年の 8 月になって山城地域は雨がほとんど降っていません。つばめの食料の小さな昆虫の発生は例年に比べてどうなのでしょう。今年も間もなく渡りの季節になってきます。お盆を過ぎると渡りが始まり、数万羽と言われる宇治川の芦原に集まるつばめの姿も少なくなってきました。これから数日が集まるピークだそうです。こうした天候のもとでの観察が楽しみです。去年は少し少なめでした。

● お二人の皆さん頑張ってください。吉川さん(京田辺市)平賀さん(富野荘)のお二人は 7 月 17 日の取り組みや里山の会ニュースで農園活動や魚とり活動へのお手伝いの呼びかけに応じて、積極的にご協力をいただいています。平賀さんも吉川さんも 23 日の魚とりでは大活躍をいただきました、ガサガサとりの実演をお願いしたところ、堂々にご指導をされ子どもたちにわかりやすく教えていただきました。吉川さんは溜りで採れるよう網の使い方などを指導いただきました。また、里山農園での収穫にも駆けつけていただき早速活動を開始頂いています。これからもいろいろお世話になりますが、気楽にご参加ご指導をお願いいたします。